



2025年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月13日

上場会社名 コーユーレンティア株式会社

上場取引所 東

コード番号 7081 URL <https://www.koyou.co.jp/>

代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）梅木 孝治

問合せ先責任者 （役職名）経営企画室長 （氏名）大野 健二郎 TEL 03-6365-6505

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年12月期第3四半期の連結業績（2025年1月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年12月期第3四半期	25,385	7.4	2,462	49.4	2,497	48.7	1,434	53.9
2024年12月期第3四半期	23,635	3.6	1,647	△22.6	1,680	△22.0	932	△26.6

（注）包括利益 2025年12月期第3四半期 1,444百万円（56.0％） 2024年12月期第3四半期 925百万円（△27.9％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第3四半期	129.78	126.92
2024年12月期第3四半期	84.97	82.86

（注）当社は、2025年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり当期純利益」を算定しております。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2025年12月期第3四半期	19,179	12,090	62.8
2024年12月期	18,305	11,064	60.1

（参考）自己資本 2025年12月期第3四半期 12,036百万円 2024年12月期 11,001百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	60.00	60.00
2025年12月期	—	10.00	—		
2025年12月期（予想）				26.00	36.00

（注1）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

（注2）当社は、2025年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2024年12月期の配当金については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。2025年12月期の配当実績及び予想は株式分割後の金額を記載しております。

（注3）配当金の内訳

2025年12月期期末配当金（予想） 普通配当21円00銭 特別配当5円00銭

詳細については、本日（2025年11月13日）公表いたしました「2025年12月期 通期連結業績予想及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2025年12月期の連結業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	34,260	7.5	3,000	44.1	3,000	40.6	1,880	21.3	170.00

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有
新規 1社 （社名）イノテックスエンジニアリング株式会社、除外 - 社 （社名） -

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年12月期 3 Q	11,066,600株	2024年12月期	11,043,800株
② 期末自己株式数	2025年12月期 3 Q	642株	2024年12月期	642株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年12月期 3 Q	11,056,821株	2024年12月期 3 Q	10,973,772株

（注）当社は、2025年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想等の将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

また、決算補足説明資料につきましては、当社ホームページにて開示予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における売上高は、主力のレンタル関連事業において、建設現場向け市場及びイベント向け市場の売上が好調であったため、25,385百万円（前年同期比7.4%増）となりました。営業利益は、全てのセグメントにおいて前年同期比で増益であったため、2,462百万円（前年同期比49.4%増）となりました。経常利益は2,497百万円（前年同期比48.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,434百万円（前年同期比53.9%増）となり、いずれも前年同期を大幅に上回りました。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

（レンタル関連事業）

建設現場向け市場では、都市部の既存大型案件における工事進捗に伴う追加需要に加え、地方での設備投資型案件を複数受注したことにより、業績は好調に推移しました。

イベント向け市場では、2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）プロジェクト関連で想定を上回る需要を取り込んだほか、同プロジェクトを契機に休眠顧客からの引き合いも増加傾向にあり、増収に寄与しました。さらに、東京2025世界陸上や高校総体（インターハイ）等の新規案件の受注も売上拡大に貢献しました。

法人向け市場では、商品・サービスの品質に焦点を当てた提案型営業に注力しておりますが、大型BPO案件の規模縮小が影響し、売上は前年を下回る結果となりました。

常設オフィス向け市場では、ファシリティ・マネジメントサービス（オフィスや工場、病院等の移転業務）において、「Office DoReMo」（オフィスのトータルソリューションサービス）の提案を強化した結果、内装工事、移設・移転、買取・廃棄等の付帯サービスの受注が増加し、売上を伸ばしました。一方、リユース販売においては、前年の大型買取案件の反動減により、前年同期比で減収となりました。

事業全体の利益面では、建設現場向け市場及びイベント向け市場が業績を牽引したほか、FF&E（※）の調達費用抑制も奏功し、前年同期比で増益となりました。

この結果、当事業セグメントの売上高は15,032百万円（前年同期比9.7%増）となりました。また、セグメント利益は1,799百万円（前年同期比46.1%増）となりました。

（スペースデザイン事業）

ファニチャーレンタル業務（マンションギャラリー内のFF&E提供サービス）では、一件当たりの客単価の上昇及び新規物件の獲得増加により、業績は好調に推移しました。一方、モデルルームのビルダー業務では、新築分譲マンション発売戸数が伸び悩んでいることに加え、マンション建設工事の着工遅延が複数案件で発生している影響を受け、前年を下回る結果となりました。

また、『箱根リトリート villa 1/f』において、企画・設計／コンストラクション・マネジメント／FF&E設置／OSE（備品・小物）設置を担当し、歴史と自然美の融合を演出したデザイン及び総合プロデュース力が高く評価されました。その結果、「2025年度グッドデザイン賞」を初受賞、「日本空間デザイン賞2025」に初入賞いたしました。詳しくは、2025年10月20日公表の「ONEデザインズ、2つのデザインアワードで初受賞／入賞」をご参照ください。

事業全体の利益面では、主にファニチャーレンタル業務の業績が寄与し、前年同期比で増益となりました。

この結果、当事業セグメントの売上高は4,425百万円（前年同期比0.4%減）となりました。また、セグメント利益は189百万円（前年同期比38.4%増）となりました。

（物販事業）

物販事業では、虎ノ門再開発案件におけるFF&E納入や、官公庁、郵政関連等の大型案件が業績に寄与したものの、前年の郵政関連向け新紙幣対応現金自動出入金機関連受注の反動減による影響が大きく、前年同期比で減収となりました。

事業全体の利益面では、前述の大型案件が寄与したことにより、前年同期比で増益となりました。

この結果、当事業セグメントの売上高は2,336百万円（前年同期比7.1%減）となりました。また、セグメント利益は147百万円（前年同期比139.4%増）となりました。

（ICT事業）

ICT事業では、レンタルサービス売上は前年同期並に推移しました。工事売上は、大手顧客とのアライアンス効果に加え、ICT商材の売上が堅調に推移したことから、売上は伸長しました。

事業全体の利益面では、不要在庫の整理や調達基準の見直しによりコスト削減を実現したほか、工事案件の内製化を進めたことで外注費を抑制し、原価低減に寄与しました。その結果、前年同期比で増益となりました。

この結果、当事業セグメントの売上高は3,590百万円（前年同期比20.5%増）となりました。また、セグメント利益は322百万円（前年同期比48.9%増）となりました。

※FF&EはFurniture（家具）、Fixture（什器）&Equipment（備品）の略称です。

（2）財政状態に関する説明

（資産の部）

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ873百万円増加の19,179百万円（前連結会計年度末比4.8%増）となりました。

（流動資産）

流動資産は前連結会計年度末に比べ834百万円増加の9,076百万円（同10.1%増）となりました。これは主に、現金及び預金が449百万円、その他流動資産が175百万円、前払費用が155百万円増加したこと等によるものであります。

（固定資産）

固定資産は前連結会計年度末に比べ39百万円増加の10,102百万円（同0.4%増）となりました。これは主に、繰延税金資産が122百万円増加した一方、投資有価証券が55百万円、ソフトウェアが33百万円減少したこと等によるものであります。

（負債の部）

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ152百万円減少の7,088百万円（同2.1%減）となりました。

（流動負債）

流動負債は前連結会計年度末に比べ303百万円減少の6,262百万円（同4.6%減）となりました。これは主に、未払法人税等が787百万円増加した一方、短期借入金が1,000百万円減少したこと等によるものであります。

（固定負債）

固定負債は前連結会計年度末に比べ150百万円増加の825百万円（同22.3%増）となりました。これは主に、固定負債のリース債務が120百万円、役員退職慰労引当金が26百万円増加したこと等によるものであります。

（純資産の部）

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,026百万円増加の12,090百万円（同9.3%増）となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が1,000百万円増加したこと等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年12月期の業績予想につきましては、本日（2025年11月13日）公表いたしました「2025年12月期 通期連結業績予想及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

（1）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,104,417	2,554,047
受取手形及び売掛金	3,837,973	3,930,738
契約資産	214,386	149,610
電子記録債権	720,630	673,513
商品及び製品	189,887	246,092
仕掛品	173,470	204,788
原材料及び貯蔵品	23,913	22,180
前払費用	497,905	653,209
未収入金	281,917	268,853
その他	198,148	373,988
貸倒引当金	△660	△670
流動資産合計	8,241,991	9,076,355
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,005,984	1,006,398
機械装置及び運搬具（純額）	11,556	9,520
工具、器具及び備品（純額）	66,081	72,099
賃貸用備品（純額）	2,750,014	2,782,926
土地	3,771,295	3,771,295
リース資産（純額）	141,383	131,651
その他	—	31,933
有形固定資産合計	7,746,316	7,805,827
無形固定資産		
のれん	230,414	197,498
顧客関連資産	308,250	280,227
ソフトウェア	329,165	295,178
その他	19,004	17,290
無形固定資産合計	886,834	790,195
投資その他の資産		
投資有価証券	263,829	208,236
繰延税金資産	211,536	334,398
差入保証金	717,386	706,027
その他	246,848	259,311
貸倒引当金	△8,946	△1,057
投資その他の資産合計	1,430,654	1,506,916
固定資産合計	10,063,805	10,102,939
資産合計	18,305,796	19,179,295

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,175,609	1,965,128
電子記録債務	1,135,456	1,109,479
短期借入金	1,000,000	—
1年内返済予定の長期借入金	87,648	—
未払金及び未払費用	634,569	506,702
未払法人税等	150,077	937,334
未払消費税等	302,731	284,141
預り金	183,639	99,312
リース債務	69,234	94,129
契約負債	333,355	467,607
賞与引当金	473,357	773,253
株主優待引当金	—	5,933
資産除去債務	7,416	19,680
その他	13,166	294
流動負債合計	6,566,261	6,262,998
固定負債		
リース債務	89,317	209,544
役員退職慰労引当金	229,985	256,928
退職給付に係る負債	—	2,852
資産除去債務	296,282	298,657
その他	59,750	57,971
固定負債合計	675,335	825,954
負債合計	7,241,597	7,088,952
純資産の部		
株主資本		
資本金	963,904	976,227
資本剰余金	1,010,781	1,023,104
利益剰余金	8,981,117	9,981,911
自己株式	△522	△522
株主資本合計	10,955,281	11,980,722
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	45,928	55,454
その他の包括利益累計額合計	45,928	55,454
新株予約権	62,989	54,166
純資産合計	11,064,199	12,090,342
負債純資産合計	18,305,796	19,179,295

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2024年1月1日 至 2024年9月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2025年1月1日 至 2025年9月30日）
売上高	23,635,757	25,385,214
売上原価	14,253,982	14,801,292
売上総利益	9,381,775	10,583,921
販売費及び一般管理費	7,734,171	8,121,773
営業利益	1,647,603	2,462,147
営業外収益		
受取利息及び配当金	5,589	4,159
作業くず売却益	9,871	4,809
販売奨励金	1,399	18,270
その他	30,968	20,762
営業外収益合計	47,829	48,001
営業外費用		
支払利息	13,841	9,659
その他	1,315	2,561
営業外費用合計	15,156	12,221
経常利益	1,680,276	2,497,928
特別利益		
固定資産売却益	815	—
特別利益合計	815	—
特別損失		
固定資産売却損	9	—
固定資産除却損	3,180	7,719
特別損失合計	3,189	7,719
税金等調整前四半期純利益	1,677,902	2,490,208
法人税、住民税及び事業税	785,258	1,180,106
法人税等調整額	△39,767	△124,868
法人税等合計	745,490	1,055,238
四半期純利益	932,411	1,434,970
親会社株主に帰属する四半期純利益	932,411	1,434,970

（四半期連結包括利益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2024年1月1日 至 2024年9月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2025年1月1日 至 2025年9月30日）
四半期純利益	932,411	1,434,970
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,440	9,525
その他の包括利益合計	△6,440	9,525
四半期包括利益	925,971	1,444,495
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	925,971	1,444,495

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更）

前連結会計年度まで非連結子会社であったイノテックスエンジニアリング株式会社は、重要性が増したため、第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

（「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用）

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分（その他の包括利益に対する課税）に関する改正については、2022年改正会計基準第20－3項ただし書きに定める経過措置及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。）第65－2項(2)ただし書きに定める経過措置に從っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

（追加情報）

（表示方法の変更）

（四半期連結損益計算書）

前第3四半期連結累計年度において、独立掲記していた「営業外収益」の「保険返戻金」は、金額的重要性が乏しくなったため、当第3四半期連結累計年度においては「その他」に含めて表示しております。また、「営業外収益」の「その他」に含めて表示していた「販売奨励金」は、金額的重要性が増したため、当前第3四半期連結累計年度より独立掲記することといたしました。この表示方法の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前第3四半期連結累計年度の連結損益計算書において、「営業外収益」の「保険返戻金」16,673千円及び「その他」15,693千円は、「販売奨励金」1,399千円、「その他」30,968千円として組み替えております。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費	1,578,697千円	1,638,426千円
のれんの償却額	32,916千円	32,916千円

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年1月1日 至 2024年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 （注）
	レンタル関連 事業	スペース デザイン 事業	物販事業	I C T事業	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	13,698,580	4,441,916	2,514,694	2,980,566	23,635,757	—	23,635,757
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	357,777	7,878	56,333	2,182,360	2,604,349	△2,604,349	—
計	14,056,357	4,449,794	2,571,027	5,162,927	26,240,107	△2,604,349	23,635,757
セグメント利益	1,231,688	137,142	61,558	216,429	1,646,818	784	1,647,603

（注）セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2025年1月1日 至 2025年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 （注）
	レンタル関連 事業	スペース デザイン 事業	物販事業	I C T事業	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	15,032,492	4,425,596	2,336,717	3,590,407	25,385,214	—	25,385,214
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	383,021	6,765	18,894	2,146,535	2,555,216	△2,555,216	—
計	15,415,513	4,432,361	2,355,612	5,736,942	27,940,430	△2,555,216	25,385,214
セグメント利益	1,799,276	189,808	147,352	322,213	2,458,651	3,496	2,462,147

（注）セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。